

中央会やまぐち

特集

- ①「第75回中小企業団体全国大会」を開催
- ②令和5年度中小企業労働実態調査の概要(山口県版)
- ③中小企業組合による団体協約等の活用について

Close Up組合 とくち健康茶企業組合

中央会TOPICS

組合TOPICS

景況動向



11

2023
NOV

Vol.787



第75回 中小企業団体全国大会

つながる ひろげる 連携の架け橋 困難にチャレンジ 未来の創造・地球との共生 ~仲間と共に希望をつなぐ 成長・貢献 新たな一歩~

中小企業経営の安定につながる労働・雇用・社会保障料対策の推進
地域を支える中小企業を未来につなぐ事業承継対策の強化
エネルギー・原材料・賃金について、適正な価格転嫁、安定供給の構築

中小企業組合等連携組織対策の大幅な拡充
震災からの着実な復興、自然災害等からの復旧・支援対策の拡充
人材確保、生産性向上等、持続可能な成長を実現する対策の強化



代表理事
増田久美子氏

Close Up 組合

クローズアップ

とくご健康茶企業組合

〒747-0234 山口市徳地小古祖871番地

TEL 0835-52-0199

FAX 0835-52-0199

代表理事 増田 久美子



オンラインショップ

「生薬の里」徳地で特産品づくり

組合について

当組合は、「地域資源の発掘・地域づくり」のために、徳地の有志と山口県立大学とで起ち上げた「徳地づくり達人塾」により、平成19年11月に設立しました。古くから徳地地域で愛飲されてきた健康茶「カワラケツメイ茶」を中心に、徳地産生薬茶葉（よもぎ、ドクダミ、桑、枇杷の葉、柿の葉等）による健康茶の製造・販売・卸業に取り組んでいます。



カワラケツメイ茶で地域おこし

カワラケツメイ茶は、まめ科の「カワラケツメイ」の葉や種、茎等、根以外のすべての部位を焙煎して作っています。弘法大師が健康維持のために愛飲し、全国行脚の際に広めたと伝えられており、弘法茶、ざら茶、まめ茶とも呼ばれています。

徳地では江戸時代から健康茶として愛飲されてきましたが、護岸工事や農薬等の影響で自生しにくい環境になってしまいました。そんな中、前理事長が一握りの種をもとに徳地でカワラケツメイの無農薬、自然栽培に取り組み、地域に広めました。

現在では、地元の農家と契約してカワラケツメイを作ってもらっており、組合や生産者の努力により、収量は増加しています。



原料確保に課題

しかしながら、高齢化の影響で生産者は減少しており、5年前には20戸あった契約農家は今では12戸になっています。今後、安定的に原料を確保できる体制づくりのために、組合の自社農園を持つことを考えています。また、柿の葉や桑の葉などの薬物も毎年売り切れになってしまっており、カワラケツメイ以外の原料の確保も考えていく必要があります。

新しい取組とこれから

当組合では、新商品の開発に積極的に取り組んでいます。新しい素材を使ったお茶の開発はもちろんのこと、カワラケツメイ茶を使った菓子や、乾燥野菜、お風呂にに入れて楽しむ「パパイヤの湯」など、お茶以外の商品も開発しています。また、お茶のブレンド体験を行うなど、お茶の魅力を広める活動も新しく始めました。

こうした取組により組合事業をますます活性化させ、次の若い世代へつなげていきたいと思っています。



「第75回中小企業団体全国大会」を開催

全国中小企業団体中央会・宮城県中小企業団体中央会は、10月11日(水)、「仙台国際センター展示棟」(仙台市)において、「第75回中小企業団体全国大会」を開催、全国から中小企業団体の代表者約2,000名が参集し、山口県からは矢敷会長を始め15名が参加しました。

来賓として、宮崎政久・厚生労働副大臣、伊東哲也・宮城県副知事、杉田剛・仙台市経済局次長、関根正裕・株式会社商工組合中央金庫代表取締役社長よりご祝辞を頂戴し、西村康稔・経済産業大臣、宮下一郎・農林水産大臣よりビデオメッセージを頂戴しました。

大会は、佐藤勘三郎・宮城県中小企業団体中央会会長が議長に、尾池一仁・北海道中小企業団体中央会会長、稲山幹夫・福井県中小企業団体中央会会長がそれぞれ副議長に選任されて議事が進行し、国等は、「中小

企業・小規模事業者等の危機的状況の克服、成長促進支援等の拡充」、「中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進」、「中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備」について取り組むよう決議しました。

また、本大会の意義を内外に表明するため、朝比奈徹・宮城県中小企業団体中央会青年部連絡協議会会長が、「大会宣言」を高らかに宣し、満場の拍手の下、採択されました。

これと併せて、本大会では、優良組合(44組合)、組合功労者(74名)、中央会優秀専従者(26名)の表彰が執り行われました。

次期全国大会については、2024年10月24日(木)に、福井県において開催することと決定しました。



西村康稔経済産業大臣によるビデオメッセージ



山口県からの参加者

第75回中小企業団体全国大会において、山口県からは優良組合として協同組合山九ハイウェイセンター(藤井新治理事長)、組合功労者として、恵良正明氏(山口県瓦工事業協同組合理事長)、松尾昭夫氏(赤帽山口県軽自動車運送協同組合理事長)、河野通晴氏(山口県コンクリート製品協同組合理事長)が全国中小企業団体中央会会長より表彰されました。



協同組合山九ハイウェイセンター
(藤井新治理事長)



恵良正明氏



松尾昭夫氏



河野通晴氏

中小企業団体全国大会のより詳しい内容はこちらからご覧ください。

全国中央会 全国大会



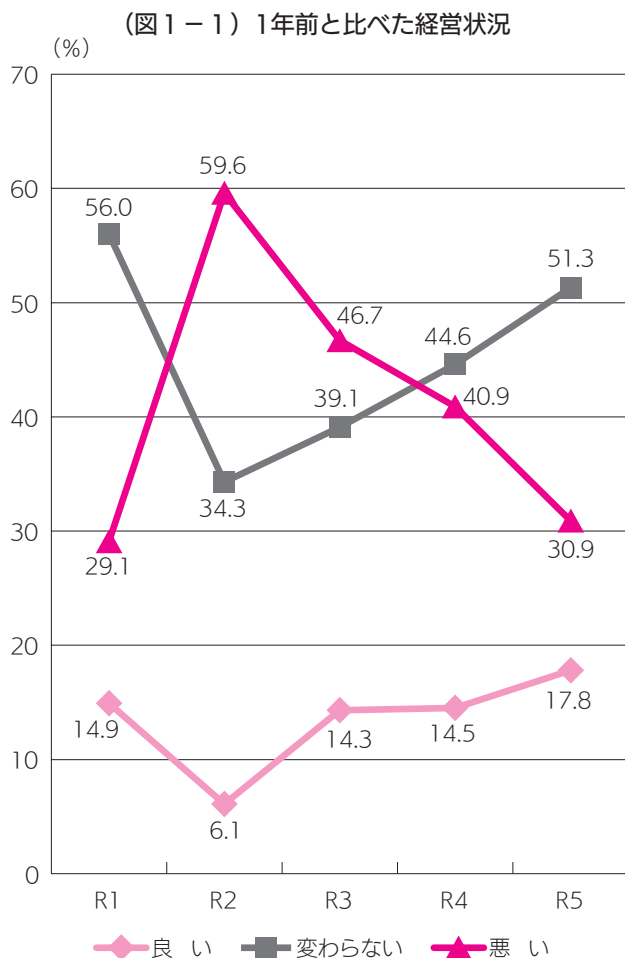
特集② 令和5年度中小企業労働事情実態調査の概要(山口県版)

本調査は、毎年度、各都道府県中央会が従業員300人以下の事業所を対象に、全国統一の調査票で実施しています。本年度は経営状況、労働時間、年次有給休暇の取得状況、新規学卒者の採用状況、中途採用者の採用状況、賃金改定実施状況等についての調査を行い、結果の概要を過去4年間と比較し取りまとめました。(会報ではその一部を紹介し、詳細は中央会ホームページに掲載予定です。)

- 1 調査時点 令和5年7月1日
- 2 調査対象 800事業所
- 3 回答数 349事業所
- 4 回答率 43.6%

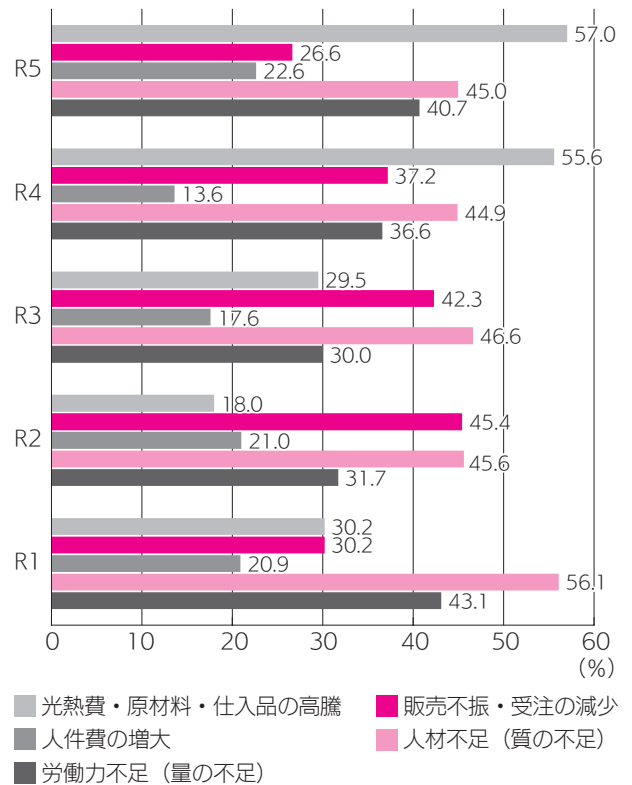
1 経営状況

(図1-1) 1年前と比べた経営状況は、「良い」とする事業所の割合は微増し、「変わらない」とする事業所の割合が増加、「悪い」とする事業所の割合が減少している。



(図1-2) 直面している経営上の障害は、「光熱費・原材料・仕入れ品の高騰」が最も多く、次いで「人材不足」、「労働力不足」が多い。

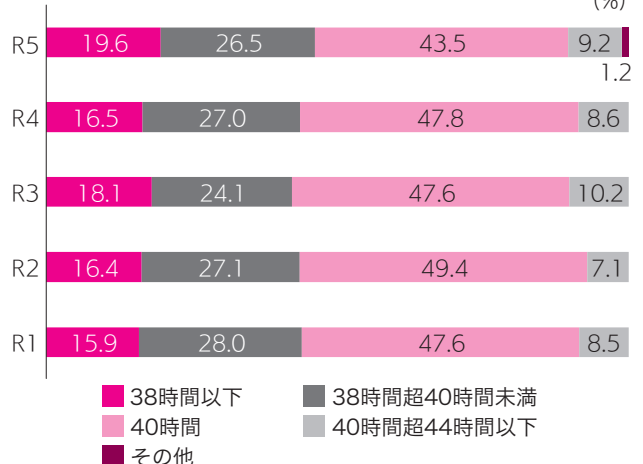
(図1-2) 直面している経営上の障害 (複数回答)



2 従業員の労働時間

(図2) 週所定労働時間は、「40時間」が43.5%と最も多い。令和4年度と比べ「38時間以下」が3.1ポイント、「40時間超44時間以下」が0.6ポイント増加し、「38時間超40時間未満」が0.5ポイント、「40時間」が4.3ポイント減少している。

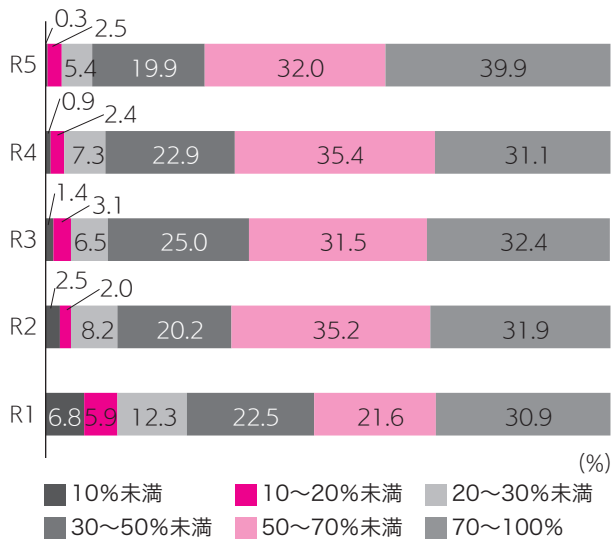
(図2) 週所定労働時間 (%)



3 従業員の年次有給休暇の取得状況

(図3) 年次有給休暇の平均取得率は、「70～100%未満」が39.9%で最も多く、令和4年度に比べ8.8ポイント増加、次いで「50～70%未満」が32.0%となっている。

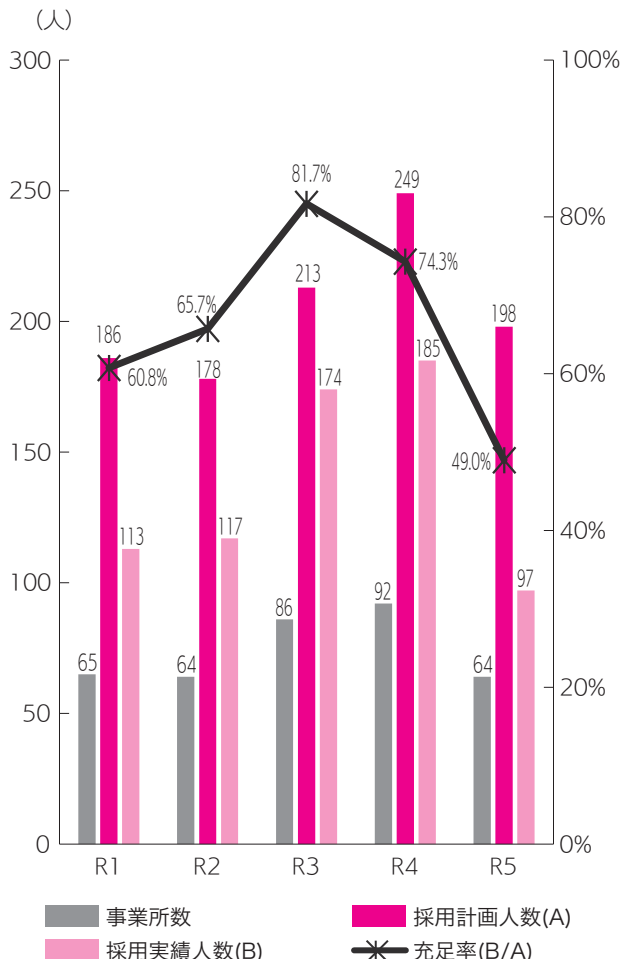
(図3) 年次有給休暇の平均取得率 (従業員1人当たり)



4 新規学卒者の採用状況

(図4) 令和5年3月の新規学卒者を採用または採用の計画があった事業所数、採用計画人数、採用実績人数が減少しており、充足率も大きく減少した。

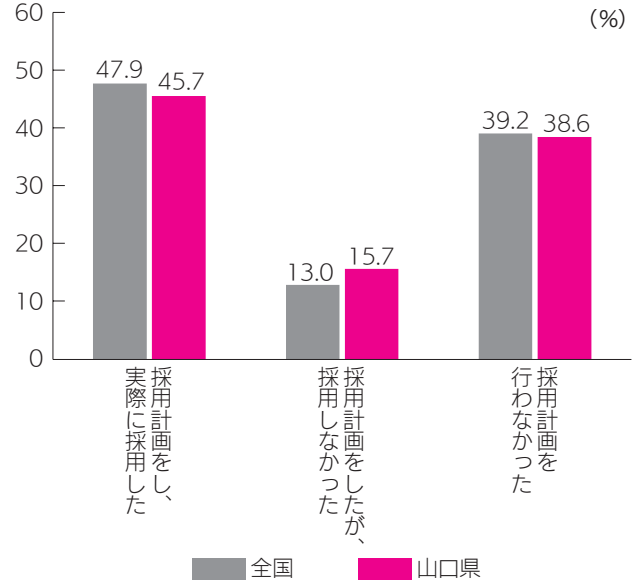
(図4) 令和5年3月の新規学卒者を採用または採用の計画状況



5 令和4年度の中途採用者の採用計画と採用充足状況

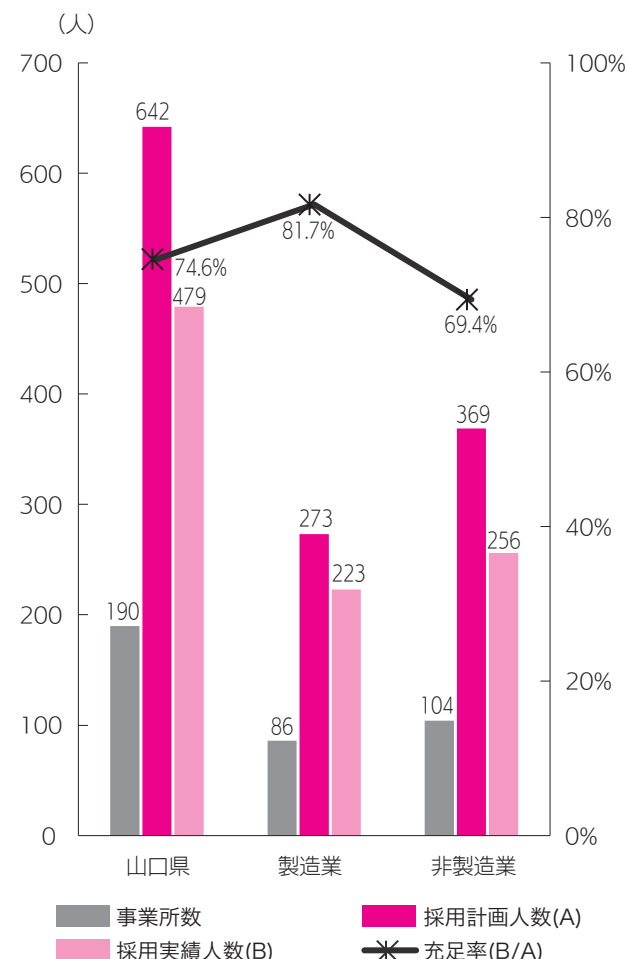
(図5-1) 令和4年度の中途採用者の採用計画は「採用計画をし、実際に採用した」が45.7%で最も多くなっているが、全国と比べて2.2ポイント低い。

(図5-1) 令和4年度の中途採用者採用計画



(図5-2) 令和4年度の中途採用者の採用充足状況は、山口県全体では充足率74.6%となっており、製造業で81.7%、非製造業で69.4%となっている。

(図5-2) 令和4年度の中途採用者の採用充足状況

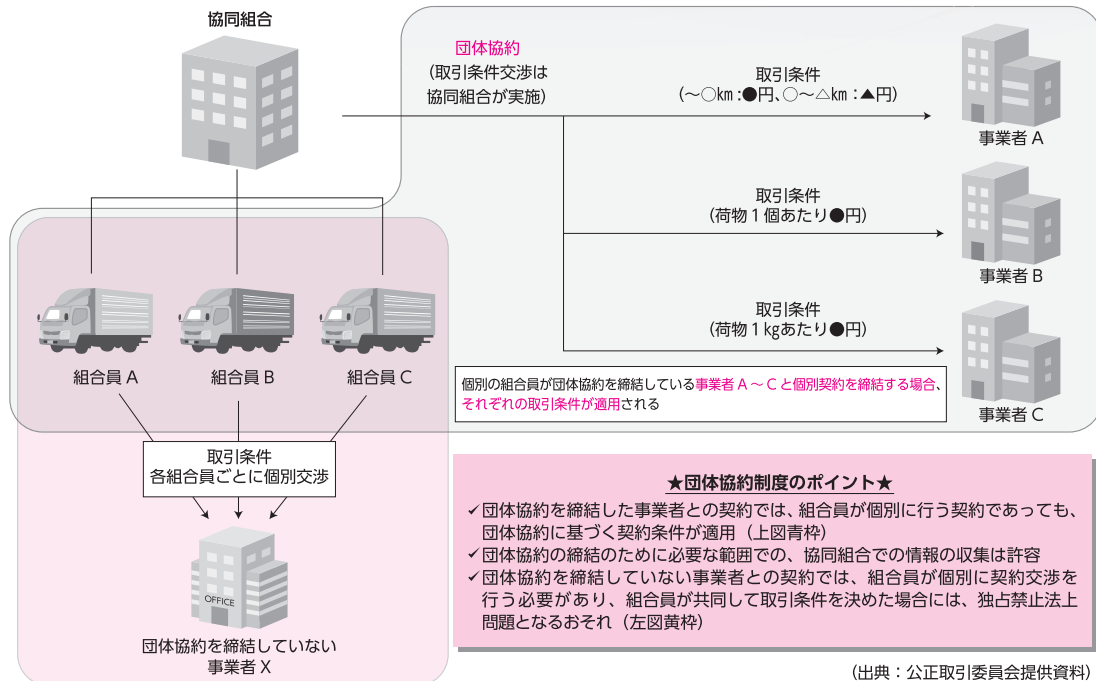


団体協約とは、事業協同組合と、組合員と直接取引関係にある事業者との間に締結される契約です。

中小企業者は取引先との価格交渉等の場面において不利な条件が付されることが多いため、法は組合員の競争力を補強するための手段として団体協約の締結事業を認めています（中協法9条の2第1項第6号）。団体協約を結ぶことによって、納入する製品・サービスの最低価格や支払条件などの取引条件について取り決めることができます。

昨今の原油・原材料価格の上昇に伴い、価格転嫁を進めるための有効な手段として注目されています。取引先との価格交渉及び価格転嫁対策として、組合の団体協約等をご活用ください。

団体協約制度の概要



全国中央会作成リーフレット「取引先との価格交渉、価格転嫁対策に組合を活用しよう！」より抜粋

団体協約等の締結例



全国中央会作成リーフレット「取引先との価格交渉、価格転嫁対策に組合を活用しよう！」より抜粋

団体協約等締結の要件・効果

- ◆ 団体協約を締結できる組合は、事業協同組合、事業協同小組合、協同組合連合会、商工組合（商工組合においては「組合協約」）です。
- ◆ 団体協約を締結する組合の事業として、定款に「組合員の経済的地位の改善のためにする団体協約の締結」を行う旨を定める必要があります。
- ◆ 団体協約を締結する前に、その内容を総会に諮り承認を得ておく必要があります。
- ◆ 団体協約では、中小企業等協同組合法第9条の2第1項第6号の団体協約であることを明記した書面により締結する必要があります。
- ◆ 交渉が不成立となった場合、行政庁に対してあっせん・調停を申請することができます。

団体協約制度についての詳細は、全国中央会作成のリーフレットをご覧くださいとともに、担当指導員または本会までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 山口県中小企業団体中央会 連携支援部 ☎083-922-2606

リーフレットはこちら



中小企業脱炭素化促進支援機関向けセミナーを開催

山口県中小企業団体中央会

9月22日(金)にホテルサンルート徳山、9月25日(月)に山口グランドホテルにて、中小企業脱炭素化促進支援機関向けセミナーを開催し、商工会・商工会議所・金融機関等の方に参加いただきました。

一般社団法人エネルギーマネジメント協会の井本浩嗣氏(合同会社ワライト代表社員・中小企業診断士)を講師に、事業者が持続して事業を営むには社会と地球環境が持続していくことが前提であり、そのための脱炭素経営の取組と支援機関が事業者をサポートしていく手法について講話がありました。

セミナー後半では中小企業基盤整備機構中国本部アドバイザーの岡村幸壽氏(合同会社岡村P E事務所代表社員・技術士)を講師に、事業者の具体的なカーボンニュートラルに向けた取り組み事例紹介があり、効果的な手法や補助制度の活用方法の解説がなされました。
(連携支援部 前田)



フジグラン宇部「地産・地消フェア」に出店

山口県中小企業団体中央会
山口県地域資源活用型企業組合連絡協議会
(やまぐちふるさとくらぶ)



10月12日(木)~15日(日)の4日間、フジグラン宇部で開催された「地産・地消フェア」に出店し、地域資源を活用した農産加工品などを製造している企業組合の商品約60点を取り集めて販売しました。昨年商品を購入されたお客様が、「おいしかったから」と今年も買いに来てくださることもあり、着実にファンが増えていることを実感しました。

企業組合の商品は、地元やその近辺でのみ販売されることが多いため、宇部では取り扱いのない商品もあり、宇部市近隣の方々にはPRする良い機会となりました。(連携支援部 竹中)

組合TOPICS

やまぐちJOBフェスタでおしごと体験を提供

山口県瓦工事業協同組合ほか

10月7日(土)及び8日(日)に、山口市「山口きらら博記念公園」にて、「やまぐちJOBフェスタ」が開催されました。山口県瓦工事業協同組合など技能士を有する組合や技能士会等の団体が出展し、子供たち等に向けておしごと体験や科学実験等が行われました。伝統や職人の技を気軽に楽しむことのできるイベントで、ミニ畳づくり体験、鉄筋を加工・結束する体験、バーテンダーのカクテル作り体験等があり、多くの家族連れが楽しみました。

山口県瓦工事業協同組合は、粘土を使った鬼面瓦づくり体験ブースを出展。瓦作りに実際に使われる粘土を型にはめ、その後残りの粘土で自由に成形を体験できる内容です。希望者には後日、焼成等を行い完成したものが送付されます。(連携支援部 平田)



鬼面瓦づくり体験の様子

大盛況!餅まきイベントを開催

協同組合唐戸商店会

当組合は、10月7日(出)に、「唐戸だヨ!全員集合・福餅まき」イベントを開催しました。下関市役所前市民広場で開催されたイベントでは、会場内にステージを設け、地元学生による吹奏楽や平家太鼓のパフォーマンス、地元で活動するアーティストによる音楽ライブなどの多彩なステージイベントが行われ、また、会場内の別の場所では、キッチンカーや下関市立大学の学生によるくじらを使ったバーガーの販売も行われました。

イベント中、最も盛り上がりを見せたのは福餅まきで、会場中央に設けられたやぐらからまかれた、この福餅の袋の中には、唐戸商店街の登録店舗で使える500円分の商品券が入っており、参加者は競うように福餅を拾い集めていました。
(連携支援部 花田)



「集落のあり方を考えるシンポジウム」に登壇

八坂ふれあい拠点企業組合

10月21日(出)、山口市徳地文化ホールにて、山口県主催の「中山間地域づくり 集落のあり方を考えるシンポジウム in 山口」が開催され、当組合代表理事の渡邊美恵氏がパネリストとして登壇されました。

当組合は、山口市徳地八坂地域にてうどん、カレーライス等の軽食や、飲み物、ソフトクリーム等のカフェメニューを提供する「BASE 83 (ベース ハチサン)」を運営しています。提供するお米やお茶は、八坂産のものにこだわっています。また、夕涼み会などのイベントの開催や地域行事への協力など、地域住民の交流拠点としての活動も積極的に行っています。



シンポジウムでは、当組合の設立の経緯や活動内容等についてお話しされ、宇部フロンティア大学短期大学部教授・NPO法人うべネットワーク理事長の伊藤一統氏をコーディネーターに、他パネリストの徳地地域づくり協議会会長の板垣幸男氏、やまぐちシードル代表の原田尚美氏と共に、徳地地域の活性化について意見交換が行われました。また、開催前には参加者を対象に「BASE 83」の現地視察も行われました。
(総務企画部 宇多村)

「災害時対応“実地訓練”」を開催

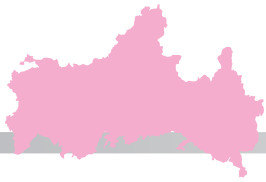
山口県石油商業組合

当組合では、いつ何時、発生するかもしれない災害等に対して、実際に発生した際に円滑な対応ができるよう、下関市にある組合員の「住民拠点SS (ガソリンスタンド) (※)」において、10月18日(水)に「地震発生(停電)時のガソリンスタンドにおける初動の実践」として、災害時対応実地訓練を開催しました。

訓練では、本番さながら、地震発生から身の安全確保、二次災害防止、給油再開に向けた対応として非常用電源設備の稼働、実際の消防車両への給油などの一連の流れを、講師からそれぞれの場面におけるポイントの説明を受けながら実施されました。
※住民拠点SSとは、自家発電機を備え、災害における停電時にも継続して地域住民に給油が出来るガソリンスタンド。2023年5月31日時点で、全国にあるガソリンスタンド30,000ヶ所のうち14,461ヶ所が住民拠点SSとして整備されている。



(連携支援部 花田)



月次景況調査結果

令和5年9月期

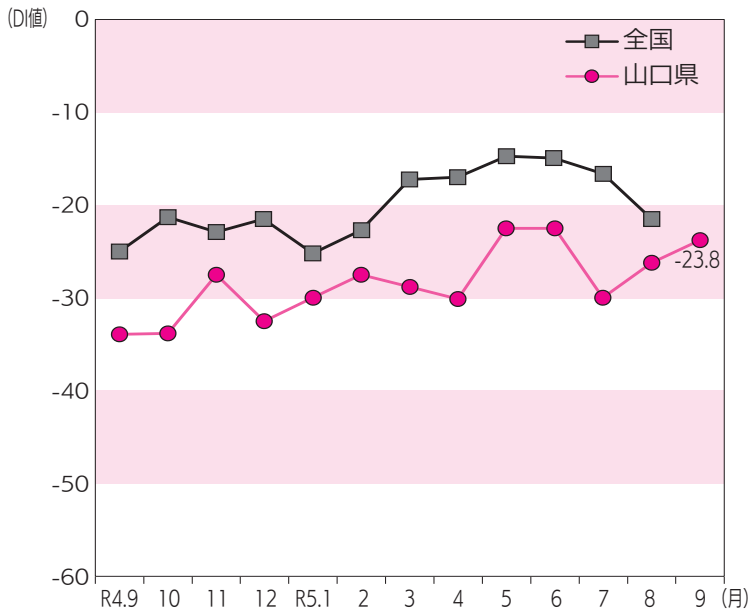
製造業を中心に総じて売上高は増加傾向にあり、全体の景況DI値は2か月連続で改善したものの、高止まりを続けるエネルギー・原材料価格により収益は好転していない。

また、多くの業種において、人材不足により受注や販売に対応できない状況があり、人材不足が売上や収益の確保に深刻な影響をもたらしている。

さらに、コロナ特別融資の元金返済開始や、10月からのインボイス制度開始と最低賃金の大幅な引き上げを懸念する声も寄せられており、先行き不安感が拭えない。

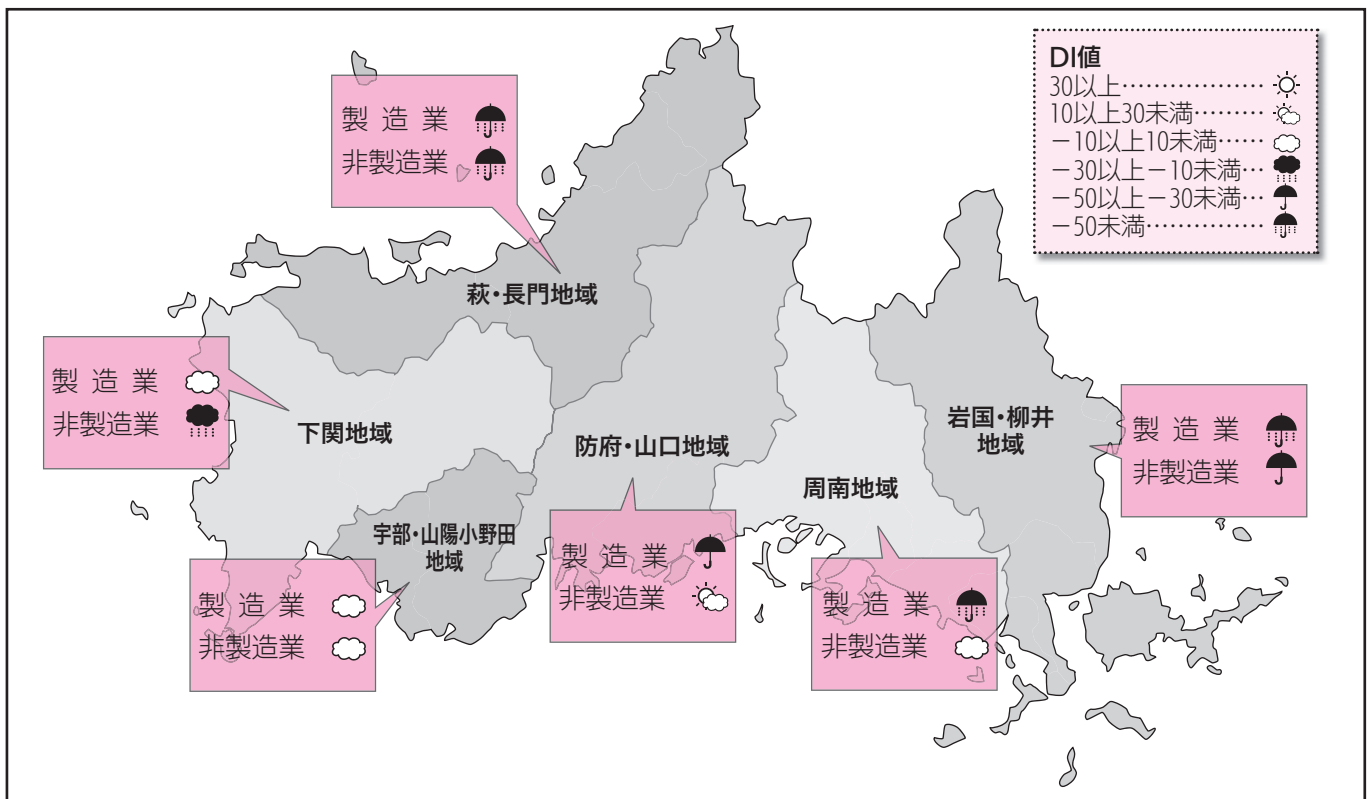
※DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 減少・悪化組合割合

業界の景況DI値の推移 - 全国平均との比較 -



業種別の景況

	業種	前年同月比	前月比
製造業	食料品	☔	→
	繊維工業	☔	→
	木材・木製品	☔	↗
	印刷	☁	↗
	窯業・土石製品	☔	→
	一般機器	☔	→
非製造業	輸送機器	☔	→
	卸売業	☁	↗
	小売業	☔	→
	商店街	☔	↘
	サービス業	☁	↘
	建設業	☔	→
	運輸業	☁	↗
	その他	☁	→



地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ (<https://axis.or.jp/>) の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製 造 業	食料品	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 原魚の水揚げが例年より凄く少ない。人手不足が深刻である。新商品開発が急がれ、研究機関や異業種交流、特に若者の発想と行動力が必要である。(水産食料品製造業) ○ 地球温暖化で米作柄の品質、収量がともに低下。肥料、燃料など各種コストの大幅な増加により、製造原価が上昇し、事業が更に苦しい状況となっている。(精穀・製粉業)
	繊維工業	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人材不足が慢性化。技能職育成も定着する人がなく無理である。(外衣・シャツ製造業)
	木材・木製品	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 組合員の平均売上額は、コロナ禍の令和4年9月と比べ25%の減少。建築工事が前年と比べ減少傾向、木材需要もそれに関連して減少している。
	印刷	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 原材料価格は高止まりし厳しい環境に変わりはないが、既存生産工程、手法の見直しや仕入ルートの新たな開拓などで対応をしている。イベント等の再開による印刷物の需要は回復してきているが、受注の競争激化による価格競争により、思うような収益に結びついていない。印刷物自体の発注中止やWebへの移行など新しい動きも出てきている。
	窯業・土石製品	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設計価格が反映される6ヵ月後には、原材料、輸送費等が更に高騰し常に追い付かない期間が2年以上続いている。工事期間が6ヶ月以上かかる現場では、出荷時期には原価がアップしており、経営悪化に拍車を掛ける要因となっている。(コンクリート製品製造業)
	一般機器	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 周南コンビナートの秋季定修工事期間に入った。各社繁忙となり人材不足に悩まされている。閑散期と繁忙期の差が大きいことが負担になっている企業も多い。(下松市) ○ 原材料の値上げは落ち着いてきたが、購入品の納期が不確実で受注量も多く、納期調整に苦労している。人手不足は解消せず現従業員の負担が大きくなっている。(防府市) ○ 中国の景気悪化で大手機械部品メーカーの発注が激減し、下請け関連企業に大きな影響があり、外国人技能実習生の帰国に伴う補充受け入れも延期されている。(宇部市)
	輸送機器	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄道車両関係は海外(台湾・エジプト・米国等)の受注で順調に推移している。受注量は2024年度後半以降から減少の見通しだが、2026年度から回復の兆しはある。半導体製造装置の部品製造業において、当初の予定よりも大幅に受注量が減少している。
非 製 造 業	卸売業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 倉庫売上は順調であり海産物の出入庫量が増加している。自家発電(ソーラー)により、電気料金値上げに伴う出費を最小限に抑えることができている。(乾物卸売業) ○ 売上原価は上昇しているが原材料価格が上昇しており、収益の状況は、あまり好転してはいるように感じられない。(各種商品卸売業)
	小売業	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 売上は8月よりも減少したが前年同月比では同等。雇用は廃業もあり減少。インボイス制度は登録していない取引先もあり、どうしたものかと悩ましい。(機械器具小売業) ○ 売上状況は、前年同月比約13%増加だが、原材料・仕入価格の高騰、電気代、ガス代のコスト増で、売上は増加しても収益確保ができていない状況。(各種商品小売業)
	商店街	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 売上高は大きく変わらない。接客では、領収書等のインボイス発行等で客と言い争いたくないが、やり取りのシミュレーションが出来ていないので不安である。(岩国市) ○ どれ程の経済効果があるか、今後のイベントの人出増加に期待したい。(宇部市) ○ 8月に続き、真夏日の多かった9月は、シニア層の来街者が増えなかった。食品関連は売上増となったが買回り品の売上は厳しかった。(萩市)
	サービス業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 売上は徐々に伸びる傾向にあるが、物価高騰などで不安である。(理容業) ○ 売上は前年と変わらず、燃料費は高値で、収益に大きく影響。コロナ禍で猶予されていた税金、社会保険等の支払いが再開し、資金繰りを圧迫している。(旅館業 長門市) ○ 人件費や光熱費、仕入れ価格の高騰で、価格に転嫁しても追いつかない。キャッシュレスが進み、各種手数料が差し引かれ、実質現金が不足している状況。(旅館業 下関市)
	建設業	☂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 従業員を遊ばせるような同業者が複数発生。総合建設会社は建材の値上がりについては対応せざるを得ないが、専門工事業者の労務費に対する反応は鈍い。(左官業) ○ 順調に仕事はあるが、人手不足で受注を諦めざるを得ないケースも見られた。若い世代から敬遠される業界だが、ライフラインを守る技術の引継ぎは欠かせない。(管工事業) ○ 円安が進み、原材料費の高騰、品薄、諸物価の値上げ等で、景気は改善されていない。コロナ禍での制度融資の返済も始まり、事業経営の改善は当然困難。(一般土木工事) ○ 忙しい状況だが地域によって見積数に差がある。電気、ガス、ガソリンの高騰により、価格転嫁をアナウンスしても取引先によっては厳しい指値がある。(鉄骨・鉄筋工事業)
	運輸業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自動車関連の組合輸送取扱高は前年比30%の増加となった。部品調達については大分改善された。燃料価格は、更に上がる気配がある。(一般貨物自動車運送業) ○ 8/1県内タクシー運賃が約10%アップしたが、需要減少はあまり見られない。乗務員、稼働車両が増加し、需要供給バランスの改善を期待。(一般乗用旅客自動車運送業)
	その他	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護保険報酬は国で定められ、原油や物価高騰の影響で、光熱費や食費等も値上がり、非常に厳しい状況。更に10月から最低賃金の引き上げで支出が増加する。(介護事業)

令和5年度組合等情報化推進研修

講座名	内容	講師	開催日	時間	開催場所
日々の業務を効率化！ ～弥生会計&エクセルの 有効活用術～	インボイス開始、弥生会計 をマスターしよう	倉員祥子税理士事務所 倉員 祥子氏	12月5日(火)	13:30～ 15:00	サンフレッシュ山口 OA研修室 (山口市湯田温泉 五丁目5番22号)
	今更聞けないエクセル講座 上手な活用法	タスクブレイク株式会社 代表取締役 伊藤 香氏		15:10～ 16:40	
SNSで効果的な情報発信！ ～Instagram & LINE公式 アカウント活用術～	Instagramを活用した 情報発信	旅インスタグラマー 中野 依里氏	12月6日(水)	13:30～ 15:00	KDDI維新ホール 204A B (山口市小郡令和 一丁目1-1)
	LINE公式アカウントを 活用した情報発信	松崎 純子氏		15:10～ 16:40	
ChatGPTは仕事にどう活 用できる？ ～生成AI徹底解説～	生成AIを活用しよう 【基礎編】	株式会社スプラム 代表取締役 竹内 幸次氏	12月15日(金)	13:30～ 15:00	山口グランドホテル サファイア (山口市小郡黄金 町1-1)
	生成AIを活用しよう 【実践編】			15:00～ 16:30	

※各講座の詳細につきましては、本会HPをご確認ください。

【定員】 各20名程度

【対象者】 組合事務局及び役職員、組合員企業の役職員等

【受講料】 無料

【申込み・お問い合わせ先】

山口県中小企業団体中央会 連携支援部 (担当：岡村・前田)

TEL 083-922-2606 FAX 083-925-1860 HP <https://axis.or.jp/>



本会HPよりお申込みください

企業間の **人材マッチング** を支援しています

- ・ 企業を退職される方を、人材を募集している企業様へご紹介します
- ・ 在籍型出向を希望する企業様 (受入側、送出側) ご相談ください

退職予定者のいる企業
出向に出したい企業

人員を確保したい企業
(中途採用、出向受入)

再就職・出向の実績
約24万人の公的機関



* 雇用契約期間の満了後に再就職を
希望する方がいらっしゃれば、
離職前にご連絡下さい。

無料で 全国ネットで

ホームページもご覧ください

* 各種セミナーも行っております。

産業雇用 検索



公益財団法人 **産業雇用安定センター** 山口事務所

〒754-0014 山口市小郡高砂町1番8号MY小郡ビル4階

TEL (083)973-8071 FAX (083)974-5135

お気軽にお電話ください！



食品加工排水処理のメタンガスを エネルギーとして利用

「日本全国組合紀行」では、全国の様々な組合の取組について紹介します。
今回は、食品加工排水処理のメタンガスを燃料にバイオガス発電を行う広島県の「広島食品工業団地協同組合」の取組を紹介します。

広島食品工業団地協同組合

広島県広島市西区商工センター7丁目3-40
理事長 瀬川 靖

〈設立年月日〉

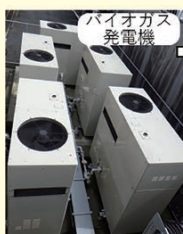
昭和51年12月24日

〈組合員数〉

19人

〈組合員業種〉

食料品製造業



〈背景・目的〉

組合員の食品製造工場から出る排水を浄化する共同処理場の嫌気処理施設において、温室効果ガスであるメタンガスが大量に発生する。このメタンガスを燃料にバイオガスボイラーで蒸気をつくり、冬季における共同処理場での加温に利用するほか、売電事業を行う組合員企業にバイオガス発電機の燃料としてメタンガスを供給する事業を開始した。

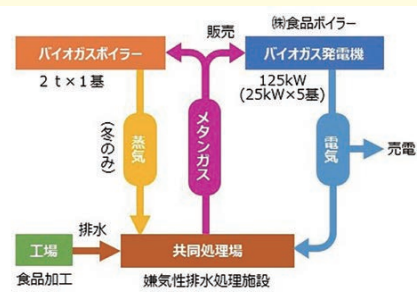
〈取組内容〉

この取り組みは当組合の専務理事が中心となり、組合員やメーカーと協議を重ね実現に至った。共同処理場で冬季のみ稼働させている組合所有のバイオガスボイラーで蒸気を発生させ、組合員工場に蒸気を供給できないかと考え、費用の面で断念した大型発電機の10分の1以下の費用で実現させた。組合員の重油使用量削減と組合の蒸気販売益拡大が同時に可能となる共同事業として、国内初のバイオガスを利用したJ-VER(現在のJ-クレジット)に認定された。

さらにボイラーで使い切れないメタンガスを使ってガス発電を行う実証を行い、2年間の運転で電気料金削減効果が認められた。組合員企業が新たに売電事業者となってガス発電機を設置し、組合はガス供給事業に徹するという事業スキームを考え、固定価格買取制度の適用が認められた。現在は組合員工場への蒸気供給は停止し、拡大したガス発電機による売電事業へのメタンガス供給を柱としている。

〈成果とその要因〉

2021年度の発電量は年間673,000kWh、組合のガス事業の2021年度収益は1,100万円超を計上しており、経営の安定化に寄与している。廃棄物であるメタンガスを利用するにはどうしたら良いか、事業者の立場でとことん考えたことが現在の成果を生んだと言える。



令和5年度中央会トップセミナーを開催します！

【日時】 令和5年11月27日(月) 【会場】 かめ福オンプレイス 3F 「長州」 山口市湯田温泉4-5-2

【内容】 講演会 15:30~17:00

ディズニー、NASAが認めた 遊ぶ鉄工所

「楽しくなければ仕事じゃない」～非常識な経営手法が企業と人を変える～

講師：HILLTOP株式会社 代表取締役副社長 **山本 昌作** 氏

交流会 17:00~18:30

【参加料】 講演会のみは無料 / 交流会参加料：7,000円

【問合せ先】 山口県中小企業団体中央会 (担当：総務企画部 後・田中) TEL 083-922-2606



お申込みはこちらから

